

令和８年度第１回古賀市子ども・子育て会議 議事録

開催日時		令和８年７月９日（木）　１０：００～１１：１５		
開催場所		サンコスモ古賀 ２０３・２０４研修室	公開の可否	可
事務局		保健福祉部子ども家庭センター	傍聴者数	なし
公開しなかった理由				
出席者	委　員	森保之会長、阪木啓二委員、井手久委員、伊豆剛直委員、薄秀治委員、石津朋顕委員、大住奈留美委員、伊藤啓一委員、野崎幸重委員、梅谷佐和子委員、金子佐知子委員、山本節子委員、新小田春美委員		
	事務局	宮上保健福祉部長　澤木子ども家庭センター課長、岩熊参事補佐兼子ども家庭係長、西村参事補佐兼保育・手当係長、石丸参事補佐兼子育て支援係長、ほか２名		
	その他			
議　　題		・子ども・子育て会議について ・委嘱書の交付について　・各委員の紹介について ・会長の選任及び職務代理者の指名について ・古賀市こども計画について ・令和８年度子ども・子育て会議年間スケジュールについて		
配布資料		・資料１　委員名簿 ・資料２　古賀市子ども・子育て会議条例 ・資料３　古賀市子ども・子育て会議について ・資料４　計画の進捗状況の管理・評価 ・資料５　令和８年度年間スケジュール		

○次第

1. 開会挨拶
 2. 委嘱書交付
 3. 各委員の紹介（資料 1）
 4. 会長の選任および職務代理者の指名（資料 2）
 5. 子ども・子育て会議について（資料 3）
 6. 古賀市こども計画について（資料 4）
 7. 令和 8 年度子ども・子育て会議年間スケジュール（資料 5）
 8. その他
 9. 閉会挨拶
-

令和 8 年度第 1 回古賀市子ども・子育て会議（会議概要）

1. 開会あいさつ

2. 委嘱書交付

事務局より各委員へ委嘱書交付。

3. 各委員の紹介

資料 1 に基づき各委員・事務局より自己紹介。

4. 会長の選任及び職務代理者の指名

本会議の会長として福岡教育大学大学院・森 保之氏を全会一致で承認。

本会議の職務代理者として九州産業大学・阪木 啓二氏を指名。

5. 会議について

事務局より資料 3 に基づき、会議の公開について説明。

6. こども計画について

事務局より資料 4 に基づき古賀市子ども計画の進捗状況等の管理評価スケジュールについて説明。

7. 令和8年度子ども・子育て会議年間スケジュール(案)について

資料5に基づき古賀市子ども・子育て会議の年間スケジュール案について事務局より説明。

8. その他

事務局より連絡事項について案内。

次回開催は10月～11月ごろを予定。

その他、質疑応答及び意見交換。

委員) 今後のこども・子育て会議のあり方について確認したい。会議の開催回数・時間・頻度が限られ議論が深まらない。より専門的に詰めるための部会の開催等が可能か、検討してほしい。

事務局) 参加委員の多様な声を反映できるよう、より実効性のある運営方法について検討していく。

委員) 子ども110番の利用状況について、どの程度利用されているのか把握されているか。また見直しの予定はあるか。

事務局) 具体的な利用件数の把握や見直しについては現時点では行っていない。地域によっては登下校見守り活動も行われており、学校は110番登録家の数は把握しているが、詳細な位置管理はしていない。今後も地域と協力しながら状況を把握し、必要があれば対応していく予定。周知と利用促進が今後の課題である。

委員) ファミリーサポートセンターの利用について、利用できない方もいると聞きますが、支援体制の充実はどうなっているか。

事務局) 令和8年度は年2回の講習会を実施し、預かる側の会員の増加に努めています。また、周知啓発の強化により利用促進を図っていく。

委員) 外国籍児童や外国人家庭への支援はどのようになっているか。

事務局) 妊婦訪問や保健師の支援において、通訳機能などを活用し、言語面での支援を進めている。市としても多文化共生を推進する部署と連携を図り、包括的な支援体制を整備していく。

委員) 性教育に関わる学校と家庭、地域の連携状況はどうか。また、AYA世代(20～30代若年層)の性に関する課題への対応はどのようになっているか。

委員) 保健体育の授業での性教育の実施や養護教諭の関与などはあるが、子どもたちの知識と関心のギャップがある。

委員) 性教育が単なるセクシュアルな問題に留まらないこと、行政の取り組みを住民が活用することが重要。

委員) 性的問題や出産に関するオープンな対話の場が、子どもたちを支える上で不可欠である。オープンに話せる雰囲気づくり、家庭や地域での支援強化が必要と考えている。

委員) 産後包括支援の切れ目のないサポートについて、具体的にはどのように行われているか。

事務局) 妊娠届時と妊娠 8 か月、出生後 2 か月の訪問を確実に実施し、不安や相談に対応できる体制を整えている。保育園との連携も強化し、産後から入園までの支援を継続していく。

9. 閉会挨拶